

# 事務事業評価シート

(H.28)No.	1049	(H.27)No.	1049
-----------	------	-----------	------

事務事業名	老人保健福祉週間事業(敬老の日)		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	介護・高齢支援室	宮崎 正秀	

会計区分	事業コード	141501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	老人保健福祉週間事業(敬老の日)	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	老人保健福祉週間事業(敬老の日)	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本施策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
	小施策	3	保健福祉サービスの充実
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
高齢者を敬愛し、長寿を祝い広く市民が高齢者の福祉について関心と理解を深め、かつ高齢者が自らの生活の向上に努める意欲を高める。
事業内容
市内在住の最高齢者に顕彰記念品を贈呈する。また、各地区における「敬老の日」関係事業実施に係る対象者把握及び通知に要する宛名ラベルを支給する。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	市内在住最高齢者贈呈に係る顕彰記念品代 9千円 各地区における「敬老の日」関係事業実施に係る宛名ラベル代 52千円	市内在住最高齢者贈呈に係る顕彰記念品代 10千円 各地区における「敬老の日」関係事業実施に係る宛名ラベル代 40千円

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
市内在住最高齢者贈呈に係る顕彰記念品代 10千円 各地区における「敬老の日」関係事業実施に係る宛名ラベル代 40千円	市内在住最高齢者贈呈に係る顕彰記念品代 10千円 各地区における「敬老の日」関係事業実施に係る宛名ラベル代 40千円	市内在住最高齢者贈呈に係る顕彰記念品代 10千円 各地区における「敬老の日」関係事業実施に係る宛名ラベル代 40千円

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	61千円	50千円	50千円	50千円	50千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 61	50	50	50	50
人工数					
職員	0.12人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
臨時職員等	0.04人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
②概算人件費	(0千円) 980千円	617千円	617千円	617千円	617千円
①+②総事業費	(0千円) 1,041千円	667千円	667千円	667千円	667千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
各地域での敬老の日行事の実施に寄与している。	引き続き、敬老の日行事として行い、広報活動も行う。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	高齢者の保健福祉サービスの一翼を担っている。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに高齢者の福祉について関心と理解を深め、かつ高齢者が自らの生活の向上に努める意欲を高めるために、事業の継続が必要である。	